

「顔の見える関係」を築く — 地域連携をより円滑に —

この度、2024年4月1日付で、医療支援センター センター長に就任いたしました。前任の篠原尚先生が取り組んできた地域連携の取り組みを引き継ぎ、さらに発展させていきたいと考えています。

2021年7月から始めたサタデーモーニングセミナーは、今年4月に第30回を迎えました。おかげさまで聴講くださる先生も順調に増え、ご好評をいただいております。今年度も毎月のセミナーを通して、最先端の医療現場の「いま」を共有していきますので、ぜひご参加ください。

コロナ禍で休止していた対面での地域医療懇談会も昨年度より再開し、今年も8月31日(土)の開催を予定しています。地域の先生と直接お会いして交流する機会を今後も増やし、紹介状や返書のやり取りをする際にお互いの顔が思い浮かぶような「顔の見える関係」を築いていきたいと思っております。

医療支援センターは、これからも地域の先生方や患者さんの声に真摯に耳を傾け、より良い関係づくりのために尽力してまいります。引き続きご支援よろしくお願い申し上げます。

副院長
医療支援センター長
医療社会福祉部長
診療部長 主任教授
木村 卓



専門分野 ● 神経内科全般 ● 筋疾患(特に筋強直性ジストロフィー)
資格等 ● 日本神経学会 専門医・指導医・代議員 ● 日本認知症学会 専門医
● 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 ● 日本神経治療学会 評議員
● 日本脳卒中学会

医療支援センター 主催イベント

第23回地域医療懇談会(医療関係者対象)

日時 2024年8月31日(土)
16:00~18:00 (懇親会18:10~)

概要 昨年度に引き続き、会場での開催をいたします。当院医療支援センターの取り組みの他、各科新たな診療の取り組みや新任部長による講演を予定しております。詳細は後日、当院ホームページ、武庫川クラブメーリング配信、案内状など各種通知にてご案内します。

場所 ホテルヒューイット甲子園
(阪神甲子園駅西口)

お問い合わせ先 兵庫医科大学病院 医療支援センター TEL:0798-45-6035

詳細は後日、当院ホームページ(<https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/>)にて、ご案内いたします。

アーカイブ動画(期間限定配信)

	開催日	講師	セミナー演題
第28回	2024年 2月 3日	呼吸器内科 講師 三上 浩司	病診連携から考える呼吸器疾患治療
第29回	2024年 3月 2日	消化管内科 診療部長 新崎 信一郎	消化管疾患の最近の話題と 医療連携の重要性
第30回	2024年 4月20日	歯科口腔外科 診療部長 岸本 裕充	薬剤関連顎骨壊死の対応はどう変わったか

※「兵医サタデーモーニングセミナー」は医師及び医療従事者を対象とした動画配信セミナーです。提供している情報は専門的なものであり、一般の方への情報提供を目的としたものではありませんので、あらかじめご了承ください。

医師の異動

着任 2024年2月1日~4月1日付

- 呼吸器外科 舟木 壮一郎
- 産科婦人科学 馬淵 誠士
瀧本 裕美
中川 公平
- 小児外科 田附 裕子
堺 貴彬
西塔 翔吾
- 肝・胆・膵外科 野垣 航二
- 循環器内科 河合 健志
- 呼吸器内科 藤本 大智
- 小児科 矢谷 和也
寺崎 英佑
角田 朋大
松井 美樹
- 乳腺・内分泌科 土田 純子
- 整形外科 中尾 吉孝
大西 政彰
- 泌尿器科 重坂 光二
- 脳神経外科 進藤 孝一郎
森原 舜太郎
辻 翔一郎
- 消化管内科 池ノ内 真衣子
- アレルギー・リウマチ内科 野口 和照
- 糖尿病・内分泌・代謝内科 木俣 米一
- 眼科 杉澤 孝彰
- 歯科口腔外科 大前 亮之
富本 康平
畑中 彩花
- 救命救急センター 村上 博基
- 下部消化管外科 伊藤 一真
大谷 雅樹

退任 2024年1月21日~2024年3月31日付

- 歯科口腔科学 高岡 一樹
- 産科婦人科 柴原 浩章
竹山 龍
佐伯 信一郎
- 臨床検査部 小柴 賢洋
- 脳神経内科 武田 正中
- アレルギー・リウマチ内科 松井 聖
- 整形外科 越谷 博之
神頭 諒
- 糖尿病・内分泌・代謝内科 楠 宜樹
角田 拓
- 小児外科 野瀬 聡子
樋渡 勝平
- 循環器内科 今仲 崇裕
福原 英二
曾山 裕子
- 形成外科 藤原 敏宏
- 小児科 藤野 哲朗
落合 智美
西岡 隆文
三崎 真生子
- 救命救急センター 白井 邦博
長谷川 佳奈
福井 周作
小林 智行
佐藤 聖子
- 腎・透析内科 相地 誠
- 放射線科 高萩 基仁
- 精神科神経科 前林 憲誠
- 泌尿器科 嶋谷 公宏
- 麻酔科学・疼痛制御科 永井 貴子
- 肝・胆・膵外科 平井 隆仁

診療日・診療時間の変更について

2024年4月より、右記のとおり、診療日及び診療時間を変更することとなりました。これまでの第1、第3土曜日の診療を第3土曜日に集約いたします。何卒ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。



2024年 3月31日以前
第1土曜日:8時30分~12時30分
第3土曜日:8時30分~12時30分

変更後

2024年 4月1日以降
第3土曜日:8時30分~16時45分

2024年度の 開院日について



当院では、ハッピーマンデーの一部(敬老の日、成人の日)を開院日とし、安心・安全な医療の提供を整えております。2024年度は、下記の祝日を通常の診療体制といたしますので、お知らせいたします。

- 敬老の日 2024年9月16日(月)
- 成人の日 2025年1月13日(月)

※ 上記開院日につきましては、紹介予約受付時間を8:30~17:15とさせていただきますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1
TEL(0798)45-6111(大代表)

編集・発行 2024年5月 兵庫医科大学病院 医療支援センター
TEL:0798-45-6035(直通) FAX:0798-45-6002(直通)



HYOGO MEDICAL
UNIVERSITY HOSPITAL

地域医療連携だより

巻頭インタビュー
サタデーモーニングセミナー
お知らせ(開院日等)

2024年
春号

最先端の機器を活用し、 より安全で体にやさしい手術を

兵庫医大では、最新の医療機器を用いた精密で体にやさしい手術を行っています。例えば早期の肺がんは、もともと標準術式であった肺葉切除ではなく区域切除でも根治が見込めるため、術後の機能温存を目指して積極的に区域切除を行っています。区域切除は、肺葉切除と比べて血管や気管支の処理がやや煩雑となるため、手術の難度は上がりますが、当院では3D画像解析システム「SYNAPSE VINCENT(シナプス ヴィンセント)」を導入し、術前に入念なシミュレーションを行うことが可能です。また、手術を行う際は最新鋭の手術支援ロボット「ダヴィンチXi」を使用し、精密で巧緻な手術手技を低侵襲で行っています。

当科は阪神間の呼吸器外科領域の「最後の砦」として幅広く診療にあたっています。疾患の大小にかかわらず気軽にご相談ください。

兵庫医科大学病院 呼吸器外科 講師 橋本 昌樹



病院長
炎症性腸疾患外科
主任教授診療部長
池内 浩基

地域の先生方とのつながりを深め 病診・病病連携をさらに推進

この度、2024年4月1日付で、阪上雅史前病院長の後任として当院の病院長に就任いたしました。阪上前病院長の5年間の大半は、新型コロナウイルス感染症との戦いでした。現在は5類感染症に移行していますが、散発的な感染者は発生しており、緊張感を維持しながら今後も診療を続けてまいります。

当院の歴史を顧みると、1972年4月に468床の病院として開設。現在の主病棟である1号館は1973年8月に完成し、病床数は1,150床に増床されました。それから約50年。現在の当院の病床数は963床で運用されており、2022年度の入院の延べ患者数は約27万5千人、外来の延べ患者数は約58万3千人、総手術数は9,672件の特定機能病院となっています。

当院は今、2026年秋の開院を目指して、阪神高速道路の北側に15階建て801床の新病棟を建設中です。私の任期中に新病棟への機能移転が行われますので、十分にシミュレーションを行い、安全な移転を成し遂げたいと考えています。「Human Centered Hospital～ひとが主役の未来型スマートホスピタル～」をコンセプトとする新病棟の完成により、療養環境と利便性は大きく改善されます。特定機能病院として、地域の医療機関とのネットワークを強化し、病診・病病連携をさらに進めて、安全で質の高い医療を今まで以上に提供してまいります。

当院ではこれまでも地域連携を強化するための取り組みに力を注いできました。その一つが、返書数増加と返書率の向上です。ご紹介いただいた患者さんに対して2通以上、返書率90%以上という目標値を掲げ、昨年から返書指標の運用を進めています。2023年度は、平均返書回数1.61回→1.67回、返書率92.9%→94.0%という数値を達成。返書回数はまだ目標値には至っていませんが、今後も具体的な数値目標を掲げて取り組みを継続していくことで、院内全体で返書への意識をより一層高めていきたいと考えています。

また、新たな取り組みとして、今年5月からオンライン紹介予約をスタートしました。インターネット端末を使って、診療室や受付窓口その場で予約できるため、地域の先生方や患者さんをお待たせすることなくスムーズな対応が可能になります。現在は17の診療科・センターで導入しており、今後さらに拡充していく予定です。

2021年度にスタートしたサタデーモーニングセミナー、コロナ禍を経て昨年から再開した地域医療懇談会など、オンラインや対面での情報発信や交流の場は、これからもさらに充実させていきます。市ごとに実施する病診・病病連携の会も今年度から再開する予定ですので、ぜひご参加いただければと思います。また、情報発信については、登録医制度「武庫川クラブ」の専用ページを中心に、Webコンテンツもより拡充してまいります。

今後も地域の先生方とのつながりをさらに強固にし、より多くの人々に貢献できる病院を目指していきたいと思っています。皆さまのご理解とご支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。



専門分野

●炎症性腸疾患の外科治療

資格等

●日本外科学会 専門医・指導医・代議員
●日本消化器外科学会 専門医・指導医・評議員
●日本大腸肛門病学会 専門医・指導医・評議員
●日本消化器病学会 専門医・指導医・財団評議員
●日本消化管学会 専門医・指導医・代議員・理事
●日本腹部救急医学会 専門医・教育医・評議員
●日本炎症性腸疾患学会 専門医・指導医・理事
●アジア炎症性腸疾患機構 監事
●厚労省難治性炎症性腸腸管障害に関する調査研究班 班員
●医学博士(1997年)

兵医サタデーモーニングセミナー

第31回 2024年5月18日(土)

二番目に多い膠原病 シェーグレン症候群について

アレルギー・リウマチ内科 准教授／診療部長 **東 直人**

シェーグレン症候群は、国内の患者数は約6.8万人で、関節リウマチに次いで2番目に多い膠原病です。典型症状の眼・口腔の乾燥は非特異的であるため、診断されていない患者も相当数いると考えられ、欧米の有病率を当てはめると10万人から25万人はいると考えられています。また、外分泌腺以外の臓器病変を呈する場合もあり、どの診療科も患者にとって入口となる可能性があります。本セミナーを通してさまざまな科の先生方にシェーグレン症候群に馴染みを持っていただき、当院と地域の先生方が協力し合いながら有機的な診療を展開していきたいと考えています。「もしかしたら」と疑いのある患者さんがおられましたら、ぜひ当科にご紹介ください。

略歴 ●1999年兵庫医科大学卒業。兵庫県立淡路病院、国立病院機構大阪南医療センターを経て、2007年より当科。

2021年より和歌山県立医科大学リウマチ・膠原病科非常勤講師。

研究班・学会 ●厚労省自己免疫疾患に関する調査研究班(シェーグレン症候群分科会) ●シェーグレン症候群診療ガイドライン作成委員
●厚労省再発性多発軟骨炎の診断と治療体系の確立班 ●日本シェーグレン症候群学会理事 ●日本内科学会近畿支部評議員・指導医・総合内科専門医
●日本リウマチ学会評議員・指導医・専門医 ●日本アレルギー学会指導医・専門医 ●日本臨床免疫学会代議員・免疫療法認定医
●日本臨床リウマチ学会評議員



第32回 2024年6月15日(土)

繰り返す流産に挑む！ 不育症の診断と治療

産科婦人科 准教授 **福井 淳史**

不育症とは、妊娠はするけれども2回以上の流産・死産をしてしまい、児が得られない状態を言います。不育症のリスク因子は約6割が不明とされています。当院では、一般的な検査・治療に加え、これまでの基礎的・臨床的検討から得られたデータをもとにした検査・治療を行っています。特に力を入れているのが、子宮内膜および血液の免疫細胞の異常を有する免疫学的不育症患者に対する検査です。適切な検査による診断を行い、十分にご説明した上で治療に臨むことで、良好な治療成績が期待できます。不育症の原因には内科的疾患が関わる場合も多いため、地域の産科婦人科はもちろん内科の先生方とも今後より一層連携して診療にあたっていきたいです。

専門分野 ●生殖医学 ●生殖免疫学 ●内視鏡手術

資格 ●日本産科婦人科学会 専門医・指導医 ●日本生殖医学会 生殖医療専門医 ●日本産科婦人科内視鏡学会 腹腔鏡・子宮鏡技術認定医
●日本内視鏡外科学会 技術認定医



第33回 2024年7月20日(土)

膵嚢胞性疾患の診断と治療

肝胆膵外科 主任教授／診療部長 **廣野 誠子**

近年は腹部超音波検査やCT検査の画質が向上したため、検診などで膵嚢胞性腫瘍が偶然見つかるケースが増えています。中でも代表的なものは、膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)、粘液性嚢胞腫瘍(MCN)、充実性偽乳頭状腫瘍(SPN)、漿液性嚢胞腫瘍(SCN)の4種類です。膵嚢胞性腫瘍は一般的な膵臓がん比べると悪性度が低く、「治る膵臓がん」とも呼ばれています。早期に治療すれば完治できる可能性が高いため、まずはしっかりと鑑別を行い、適切な治療を行うことが重要です。当院では、内科・外科・放射線科が意見交換を重ねて治療方針を決定しています。また、患者のQOL向上を目指し、低侵襲かつ臓器や膵機能を温存できる手術を推進しています。

専門分野 ●消化器外科(肝胆膵)

資格 ●日本外科学会 外科専門医・指導医 ●日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
●日本消化器病学会 消化器病専門医 ●日本膵臓学会 認定指導医 ●日本肝胆膵外科学会 肝胆膵外科高度技能専門医
●日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 ●日本メディカルAI学会 公認資格 ●医学博士(2009年)



2024年度サタデーモーニングセミナー 年間スケジュール

	開催日	講師	セミナー演題
第34回	2024年 8月17日	放射線科 准教授 高木 治行	がんのラジオ波治療
第35回	2024年 9月21日	乳腺・内分泌外科 准教授 永橋 昌幸	乳癌診療の最新情報(仮題)
第36回	2024年10月19日	循環器内科 講師 赤堀 宏州	心臓弁膜症に対するカテーテル治療
第37回	2024年11月16日	呼吸器外科 講師 橋本 昌樹	呼吸器の救急疾患(気胸・膿胸)
第38回	2024年12月21日	消化管内科 講師 奥川 卓也	当科における消化管内視鏡治療
第39回	2025年 1月18日	皮膚科 診療部長 金澤 伸雄	膿疱症・膿皮症の診断と治療
第40回	2025年 2月15日	呼吸器内科 准教授 南 俊行	身近に潜む呼吸器疾患
第41回	2025年 3月15日	血液内科 診療部長 吉原 哲	血算(CBC)の読み解き方

サタデーモーニングセミナーのお申込は、右記の各セミナー記事にある二次元コードもしくは医療支援センターにお問い合わせください